企業経営にプラス plus するワンポイント情報誌

あきた商工Biz plus

秋田県商工会連合会報
Akita Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

毎月１日発行　発行日／令和3年8月1日
（昭和45年12月３日第３種郵便物認可）

8 2021 August Vol.571

特集Ⅱ 《共通テーマ》 激変する経営環境を活用し、業績向上にチャレンジ！

「新しい発想で取り組む業態の転換」

新たにオンライン講座を開講し足もみについて指導する「自然療法ケアサロンゆばゆば」/大館市

コロナ禍を契機に、新たな生活様式が定着したことで、商品の宅配や持ち帰り、オンラインサービスの需要が急激に増加しています。

こうした消費者行動や志向の変化に対応していくためには、これまでと同じ取組を続けていくだけでなく、消費者の求めていることを察知し、柔軟で新しい発想により工夫を凝らしていくことが重要です。

小規模事業者の強みであるフットワークの軽さやスピード感を十分に活かし、商品・サービスの提供方法や生産体制等、これまでの業態を思い切って転換することで、新たな顧客・販路の獲得にチャレンジしていきましょう。

今回は、新しい発想で取り組む業態の転換について、その必要性と取り組み方を整理し、具体的な取組事例を交えて紹介します。

特集Ⅱ これまでに捉われない発想で、思い切って業態を転換し、新しい活路を見出そう!

コロナ禍によって、事業者を取り巻く経営環境が急激に変化している中、事業の維持発展に向けた方策について6月・7月号では「生産性の向上」を紹介しました。本号では、第2弾として「業態・事業の転換」をテーマに業態転換について紹介します。業態転換とは、本業を変えずに、商品・サービスの一部を変更することや、提供あるいは生産の方法を見直すことです。業態転換を実行するうえでは、自社の改善点を整理しこれまでの考え方に捉われない発想で、新しい価値を加えるためにチャレンジしていくことが重要となります。特に、市場の動向や消費者の行動、考え方の変化を捉えた取組が有効です。

コロナ禍の影響による新たな生活様式の定着

行動の変化
- 密の回避
- 外出自粛
- 非対面、非接触

志向の変化
- 巣ごもり消費
- オンライン活用
- 健康、衛生意識

業態転換

本業
＋
新しい発想による価値

業態転換の取り組み方

今ある自社の強みや特徴を活かし、商品・サービスに新しい価値を加えるほか、これまでの生産体制を改善すること等を意識して、業態転換に取り組んでいきましょう。

業態転換の検討が必要な状況

今の商品・サービスが消費者に選ばれなくなった	商品・サービスを提供する方法が今の時代に合わなくなった	人手不足により従来の生産体制が維持できなくなった

業態転換の取り組み方

経験や技術、ノウハウを活かして、**提供する商品・サービスを変える** または **販売先を見直す**	消費動向の変化に合わせて、**商品・サービスの提供方法を変える** または **増やす**	新しい技術の導入等により、**商品・製品の生産プロセスを見直す**

業態転換の取組例

業態転換について、業種別の取組事例を紹介します。

取組例

【建設業】〈提供するサービスを変える〉
建築業者が施工現場の映像提供サービスを開始
»顧客の満足度を上げることができる

【製造業】〈販売先を見直す〉
弁当屋が高齢者向け介護食の宅配を開始
»ノウハウを活かし販路を拡大できる

【小売業】〈提供方法を変える・増やす〉
衣料品小売店がオンライン販売を開始
»販路が広がり新たな顧客を獲得できる

【飲食業】〈提供方法を変える・増やす〉
レストランがテイクアウトや宅配を開始
»巣ごもり需要に対応できる

【サービス業】〈提供方法を変える・増やす〉
美容室が訪問美容サービスを開始
»外出を自粛している顧客にサービスを提供できる

【製造業】〈生産プロセスを見直す〉
製造業者が品質検査に画像処理技術を活用
»検査プロセスを省力化できる

具体的な取組事例

自然療法ケアサロンゆぱゆぱ（サービス業）/大館市

商品･サービスの提供方法にオンラインを取り入れ、集客力アップを実現

取組概要

「自然療法ケアサロンゆぱゆぱ」は、足もみの施術に加え、足もみ資格取得講座の指導やセルフケアグッズの販売を行っていたが、新型コロナの感染拡大により来客数及び講座の開催数が減少した。それらに対応するため、講座の一部とグッズ販売のオンライン化を実施した。これにより、非接触型の受講が可能になり新たな受講生を確保するとともに、グッズの販売先も拡大するなど、事業所の認知度向上と本業である足もみの集客につながっている。

事業者の声

コロナ禍によって、足もみや講座を実施することができず、休業を強いられる時期がありました。そこで、新たなサービス提供方法としてオンライン化を検討していたのですが、商工会の職員の方から持続化補助金の活用支援を受けて取り組んだ結果、オンラインサービスの導入が可能になり、活路を見出すことができました。今後も、取組の改良・改善を重ねて、多くのお客様に喜んでもらえるサービスを提供していきたいと思います。

「自然療法ケアサロンゆぱゆぱ」代表の日景さん

業態転換等の取組を対象とした「事業再構築補助金」の第3回目の募集が始まります。詳細は、裏面をご覧ください。

Biz plus 掲示板

事業再構築補助金の第3回公募が始まります

事業再構築補助金（通常枠） ※令和3年7月28日時点の情報

～業態転換・事業転換・新分野展開など思い切った事業再構築を支援～

補助対象 〈中小企業〉補助率：2/3　補助額：100万円~6,000万円

対象経費 建物費（建物の建築・改修等）、機械装置・システム構築費、技術導入費、外注費、広告宣伝費・販売促進費、研修費などが対象

募集期間 7月下旬から開始（予定）
※申請の際は、最寄りの商工会にお問合せください。

中小企業の定義については、中小企業庁ホームページをご覧ください。
中小企業庁ホームページ

補助金の詳細は、事業再構築補助金事務局のホームページをご覧ください。
事業再構築補助金事務局ホームページ

第1回採択事例について

①業態転換について

クリーニング業
取扱い商品を衣料品から巣ごもり需要で好調な寝具へ転換

食品製造業
惣菜製造・販売のノウハウを活かし冷凍保存商品の提供を開始

②事業転換について

製造業
加工技術を活かし航空機部品から医療用機器製造に転換

飲食業
感染症対策のため居酒屋から換気設備を備えた焼肉店に店舗改装

③新分野展開について

金属加工業
木材やアクリル等を加工する機械を導入し新たな自社製品の製造を開始

菓子製造業
焼き菓子製造のノウハウを活かしペットフード市場へ進出

次期商工会創生プラン県連合会アクションプログラム(素案)を検討しました

第5回商工会創生プラン策定委員会（諸橋委員長）を開催し、県連合会の目指す姿や戦略・施策の体系、共通戦略と独自戦略に基づく施策や取組などの検討を行い、県連合会アクションプログラムの素案として取りまとめました。

各商工会においても策定委員会を開催し、課題の対応策や独自戦略について検討するなど、商工会アクションプログラムの策定が進んでいます。

県連合会アクションプログラムの素案を検討する策定委員会

次期商工会創生プランの詳細は県連合会ホームページをご覧ください。
https://www.skr-akita.or.jp/

広告

万が一の時に備え、従業員やご家族を守ります

経営指導 経営のトータルサポート
生命保障 万が一に備えたリスク管理サポート
商工貯蓄共済4つの特徴
資金繰り 企業の資金繰りサポート
貯蓄 資産の充実サポート

どちらも月々2,000円から

あなたも家族もまるごと守る！頼れる補償の
商工会の福祉共済
全国商工会会員福祉共済

VEGETABLE OIL INK ※この紙は再生紙を使用しています。
発行所／秋田県商工会連合会　〒010-0923 秋田市旭北錦町１番47号秋田県商工会館内　電話／018－863－8491㈹
購読料／１部10円（会費に含む）